

完了後の評価個表

| | | | |
|------------------------|---|---------|----------------------------|
| 事業名 | 森林環境保全整備事業（国有林） | 事業実施期間 | 平成25年度～平成29年度（5年間） |
| 事業実施地区名 （都道府県名） | （いしかりそらち） 石狩空知森林計画区 （北海道） | 事業実施主体 | 北海道森林管理局 そらち 空知森林管理署 |
| 完了後経過年数 | 4年 | 管 理 主 体 | 空知森林管理署 |
| 事業の概要・目的 | <p>本事業は、北海道の南西部に位置する、岩見沢市を含む6市5町に所在する約166千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区のうち当署管内は、森林や湖沼など自然美に富んだ景勝地を有しており、夕張岳を主峰とする富良野芦別道立自然公園には保健休養の場として数多くの観光客が訪れるほか、利根別自然休養林や馬追自然の森自然観察教育林は市民の憩いの場、自然観察学習の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>中でも夕張岳は特異な地質に由来する多様で希少な高山植物群落が分布し、固有種のユウバリソウやユウバリコザクラなどが生育することから天然記念物に指定され、豊かな自然環境の保全が重要である。</p> <p>森林の現況は、人工林面積がトドマツ（74%）を主な樹種に約46千ha、天然林面積は約108千haを有し、森林の蓄積は北海道の平均132m³/haに対して146m³/haとなっている。さらに、総面積の約98%が水源涵養を主な目的とする保安林に指定され都市圏の水源林を担っており、下流域に位置する石狩平野の田園地帯においては基幹産業である農業の振興に資する観点からも地域の資源保全に重要な役割を果たしている。</p> <p>また、石狩平野には強い季節風が吹き込むことから防風保安林が格子状に配置され、凸型林型化による防風林の機能向上により地域の生活環境の保全が期待される。</p> <p>一方、人工林の齢級構成は、約83%が7～12齢級で、その中でも主伐期とされる10齢級以上の割合は約41%を占め、森林資源の本格的な利用期を迎えており、針広混交林や複層林へ計画的に誘導し木材を安定的に供給するほか、間伐の適切な実施や主伐後の確実な更新を図るなど、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>このため、本事業は森林の有する公益的機能の持続的な発揮を通じて地域の期待に応えるとともに、森林が二酸化炭素を吸収し地球温暖化防止に貢献するために必要な森林整備や、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新面積 38 ha 保育面積 6,544 ha 路網整備 開設延長 28.0 km 改良延長 0.9 km</p> <p>・総事業費 3,788,297 千円（税抜き 3,530,618 千円） （平成24年度の評価時点 6,421,635 千円（税抜き 6,115,843 千円））</p> | | |
| ① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化 | <p>令和4年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、実行段階における優先度を勘案した事業の実行に伴う事業量の変動等によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 36,338,742 千円（平成24年度の評価時点：27,094,556 千円※） 総 費 用（C） 8,141,476 千円（平成24年度の評価時点：7,550,577 千円※） 分析結果（B/C） 4.46（平成24年度の評価時点：3.59）</p> | | |
| ② 事業効果の発現状況 | <p>・更新、保育によって適正に森林が整備され、水源涵養や山地保全、二酸化炭素の固定など、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・林道等の路網整備により、森林整備事業地までの所要時間や木材の搬出距離が短縮</p> | | |

| | |
|---------------------|---|
| | <p>されることで経費縮減が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な事業の発注を通じて、雇用の場を提供することにより、地域の社会経済に貢献した。 |
| ③ 事業により整備された施設の管理状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。 ・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。 |
| ④ 事業実施による環境の変化 | <ul style="list-style-type: none"> ・水源涵養や山地保全の機能が十分に発揮できる森林が形成されている。 ・周囲の森林と調和した施業は自然景観を保持し、保健機能等を充実させている。 |
| ⑤ 社会経済情勢の変化 | <p>北海道の林業就業者数は近年おおむね横ばいで推移する中、本地域では平成17年度の354人から平成27年度には274人と減少傾向で推移しており、60歳以上の割合が約3割であることから、林業後継者の確保が課題となっている。</p> <p>北海道内では木質バイオマスの需要拡大や道産材建材の利用拡大の取組が展開され、木材需要拡大が見込まれる。また、森林による二酸化炭素の吸収に対する期待が高まり、森林整備の重要性が増している。</p> <p>こうした状況の中、国有林においては、コンテナ苗の植付や高性能林業機械による間伐の実施等に関する現地検討会や農業高校生のインターンシップの受け入れ等を通じて林業事業体及び林業技術者の育成の取組を促進するとともに、高性能林業機械を活用した効率的で生産性の高い作業システムの定着を図り、木材の安定供給により地域産業の振興に寄与した。</p> |
| ⑥ 今後の課題等 | <p>森林資源の適正な管理・循環利用を図りながら森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に事業を実施する必要がある。</p> <p>事業の実施に当たっては、今後の施業を想定した効果的な路網配置に加え、コンテナ苗の活用、伐採と造林の一貫作業により、森林整備の省力化及び低コスト化に資する取組を推進することが課題となる。また、森林による二酸化炭素の吸収に対する期待や北海道産材の需要の高まりに応じた木材の安定供給体制を構築するなど、北海道の林業・木材産業及び地域振興に貢献する取組が求められる。</p> <p>なお、これらの取組は、関連する地域の自治体や林業事業体と現地検討会等を通じて技術の共有を図り、普及に向けて連携することが重要である。</p> <p>地元の意見：</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(夕張市)</p> <p>夕張市において森林整備が適切に実施され、森林の有する多面的機能が発揮される健全な森林の形成がなされたことを評価する。</p> <p>本市における農地は国有林と接している。森林の有する多面的機能のうち、特に土砂流出防止機能の発揮は、基幹産業である農業（夕張メロン）の振興に資する観点から重要である。よって、引き続き森林環境保全整備事業の実施と適切な国有林の整備を期待する。</p> <p>(岩見沢市)</p> <p>国有林は、岩見沢市内における水源林の一部として、本市の基幹産業である農業の振興などに重要な役割を担っている。</p> <p>本事業において、間伐などの森林整備を行ったことにより、水源涵養をはじめとする森林の有する多面的機能が発揮される健全な森林形成が進められたことを評価する。</p> <p>今後も適切な森林整備と管理を実施され、さらなる健全な森林の形成を進めていただくとともに、民有林の模範となるような森林経営をお願いする。</p> |

また、都市近郊林である利根別自然休養林においては、適切な森林整備によって森林景観や森林空間が形成されたことで、多くの市民と自然と触れ合う機会が増加したことにより、市民の森林に対する理解の醸成に繋がったことを評価する。

今後も多くの市民が豊かな自然と触れ合える場として引き続き国有林を利用できるよう、同事業が継続的に実施されていくことを要望する。

(美唄市)

本市の国有林のうち防風保安林は、広大な農地を生かした土地利用作物の生産において、風害対策等に重要な役割を担っている。また、地域の特徴から降雪量が多く、強風に見舞われるため、地吹雪によるホワイトアウトの防止にもなることが評価できる。

本市の防風保安林は老朽化が進行していることから、保育作業で行った下刈は苗木の成長促進につながっている。そのため、適宜必要な森林環境保全事業の継続を要望する。

国有林は市の水源地上流部にあり、森林整備事業が実施されたことにより森林の持つ多面的機能の発揮と、良好な森林の形成がなされたことは高く評価する。

今後も適切な森林整備の実施と、民有林事業者の手本となるような森林管理を要望する。

(芦別市)

国有林の占める割合が高い本市において、間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより森林の多面的機能が発揮されたことを評価する。また、本市が推進している木質バイオマス事業に必要とするチップ原料となる残材の供給についても貢献された。

今後も、本市における森林・林業・木材産業の発展のため、森林環境保全整備事業の継続を要望する。

(赤平市)

赤平市内の国有林において、つる切や除伐による森林整備が実施されたことにより、森林の有する多面的機能が発揮される健全な森林の形成がなされたことは評価する。

今後も適切な森林整備と管理の実施を要望する。

(三笠市)

市内の森林のうち、国有林を占める割合が高い本市において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものであり、本事業の着実な推進は、木材価格の高騰や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれる。

また治水・周辺市町への浄水機能を有する桂 沢ダムにおいて森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮が重要となるため、今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。

(南幌町)

本町は平坦な立地条件を生かした土地利用型農業を展開しており、防風機能が発揮される森林整備事業が実施されていることは、農業振興の観点から評価できる。

引き続き、基幹産業である農業を守るため防風機能の維持や農村景観保全のため、間伐や保育など計画的な森林環境保全整備事業の実施を要望する。

(由仁町)

本町において、路網整備を含む森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されていると評価できる。

馬追丘陵周辺は多くの市民に利用されていることから、今後も豊かな自然に触れる場としての役割を果たすことができるよう、森林整備の適切な実施とその基盤になる路網整備実施のため、森林環境保全整備事業の継続を要望する。

(長沼町)

森林整備事業により、森林の有する多面的機能の発揮が促進されたものと評価する。また、近年の異常気象等により、国土保全の役割を担う防風林の森林被害も発生してきており、機能の発揮のための継続した森林整備の実施継続を要望する。

(栗山町)

栗山町において、下刈りやつる切の保育作業が森林整備事業として適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できた。

| | |
|--------------------------------|---|
| | <p>引き続き、適期に必要な森林整備と基盤となる路網整備が実施されるよう、森林環境整備事業の継続を要望する。 <small>つきがたちょう</small> (月形町)</p> <p>森林環境保全整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の発揮が促進されたと評価できる。</p> <p>保護林に指定されている月形スギ保護林は、文化遺産の保護及び地域住民に森林のふれあいの場を提供しており、保健文化機能が発揮されたと評価できる。また、自然環境の保全を図る観点から、今後とも総合的に適切な森林整備を要望する。</p> |
| <p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p> | <p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p> |
| <p>評価結果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、基幹産業の農業に資する観点から、森林の有する水源涵養や防風機能、快適生活環境形成の発揮に重要な役割を果たしている。また、林業事業体の育成の取組により林業就業者数の確保に寄与している。さらに、地域住民の森林とのふれあいの場を提供し保健文化の維持増進に貢献する観点からも、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 現況に即した路網配置や路網と高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られたことにより事業採択時と比較すると、B/Cは増加しており、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本事業により、森林の有する多面的機能が一層発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。水源涵養や山地保全の機能が発揮され、基幹産業の振興や地球温暖化防止に寄与していることから、事業の有効性が認められる。 |

※平成24年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：北海道

施行箇所：石狩空知森林計画区(空知森林管理署)

(単位：千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評 価 額 | 備 考 |
|-------------|--|------------|-----|
| 水源涵養便益 | 洪水防止便益 | 7,654,068 | |
| | 流域貯水便益 | 2,637,339 | |
| | 水質浄化便益 | 9,829,481 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 9,382,653 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 2,174,968 | |
| 木材生産等便益 | 木材生産等経費縮減便益 | 207,228 | |
| | 木材利用増進便益 | 94,930 | |
| | 木材生産確保・増進便益 | 1,258,173 | |
| 森林整備経費縮減等便益 | 森林管理等経費縮減便益 | 263,701 | |
| | 森林整備促進便益 | 2,836,201 | |
| 総 便 益 (B) | | 36,338,742 | |
| 総 費 用 (C) | | 8,141,476 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{36,338,742}{8,141,476} = 4.46$ | | |

森林環境保全整備事業 石狩空知森林計画区 事業概要図（空知森林管理署）



新設工事



植付



地拵



| 凡 例 | |
|---------|--|
| 国 有 林 | |
| 主 要 山 岳 | |
| 鉄 道 | |
| 森林計画区界 | |
| 市 町 村 界 | |
| 振 興 局 界 | |
| 森林管理署等 | |
| 森林管理署界 | |